

大島小 学校だより



島っ子だより

第42号 令和3年3月23日 文責 校長 藤瀬 安孝

卒業 おめでとう！



先週の18日、すがすがしい春の日に、第16回卒業証書授与式を挙行了しました。一年前から続くコロナ禍の中での学校行事でしたが、練習・準備を含めて例年にできるだけ近づけた形で、3名の卒業生の巣立ちを見送りました。

さまざまなことを3人で分担して、最上級生としての務めを果たしてきた6年生でしたが、卒業式においても、例年よりかなり多い言葉の分担や、3人一人一人が主役となりハーモニーを作り上げる歌声など、小学校最後の大役を、見事にやり遂げてくれました。

中学校でも、3人の学年が続く見込みです。式辞では、協力することはもちろん、一人一人の持ち味（個性）を伸ばしていき、それぞれのよさを出し合うことで、何人分もの働きができることになる。他の学校の6年生より、3人全員が多くの代表的な仕事の経験を積んできたことに自信をもち、中学校でも活躍してほしい、といったことを話しました。

同行した修学旅行をはじめ、2年間を一緒に過ごしてきた思い出のある3人の卒業生です。休み時間などで見せる笑顔をこれからも忘れずに、中学校という次のステップで、自分らしく成長していってくれることを、心から願っています。

3名の卒業生のみなさん。卒業、おめでとう！

後を受けてつないでいく

卒業式が終わってからは名実ともに、5年生が最上級生として、学校を支えていくこととなります。朝からの登校班や、委員会の仕事など、新年度メンバーにすでに引き継がれており、滞ることなく、学校生活が進んでいます。委員会活動では4年生もその一端を担い、頑張ってくれています。

4月からは、学年が上がりますが、こうやって、授業の内容が難しくなっていくだけではなく、学校の仕事などをそれぞれの学年で任せられ、その仕事に向き合っていく中で、高学年としての意識が形になっていくものです。仕事を忘れずにするという第一段階は、4年生を含めてすでにクリアできつつあります。これからは、少しずつ「学校のために、みんなのために、どうしていけばよりよい活動になるのか」といったことを考えながら、『仕事に魂を込めていく』第二段階へ目標をシフトアップして頑張ってくれることを期待しています。

5年生の顔には、次は自分たちが・・・という、前向きな思いが表れています。その姿が、下級生にも波及していくものです。新年度も、皆で素晴らしい大島小学校を創り上げていきましょう

